

地域学校
協働活動

休日OK ほかごOK 授業OK ちがくきょうどう通信

2023年
9月発行
第2号

こんにちは。令和5年度「ちがくきょうどう通信」第2号です！！今年度の活動開始から早くも5ヶ月が経過しました。新型コロナウイルスの第5類への引き下げにより、かつての日常が戻りつつある今、学校と地域の活動も徐々に動きはじめていると感じています。今号は活動の事例紹介を中心にしました。是非、ご覧ください！

事例紹介 ①



中央小学校地域運営協議会



*** 「ツナガルちゅうおう」グラウンドプレイパーク ***

今年度、新たな仲間を加えて活動を再スタートした中央小学校。前号に引き続き活動の様子を追いました。



6月某日、地域の4名のコーディネーターが学校に集まり、担当の先生と打合せを行いました。コーディネーターは地域のNPO法人や、児童会館、認定こども園の職員です。学校から「夏休みのグラウンドを活用して、子どもたちに楽しい体験の機会と、地域交流を図れないか」との提案があり、コーディネーターの皆さんから様々なアイデアが。話し合いの結果決まったのは、NPO法人の皆さんの経験を生かした「グラウンドプレイパーク」の実施でした。

打合せでは、コーディネーターから、広報活動として「インスタグラム」の使用の提案や、「団体の名称が固い！！」などのご意見も。結果、地域の皆さんのご尽力で右に示すような素晴らしい形になりました！



7月末、いよいよ「ツナガルちゅうおう」グラウンドプレイパークが開催されました！「普段の学校ではできないことを、子どもも大人も一緒になってやろう」と、水風船やシャボン玉、段ボール遊びなど、グラウンドと体育館を目一杯使って5つのブースを設置。当日はあいにくの雨でしたが、児童や保護者、地域の大人に、近隣の幼稚園や保育園の子どもたちなど多数の参加者が集まりました。

子どもたちは久しぶりの体験活動ということで、皆、嬉しそうな様子で大はしゃぎ。遊んだあとは参加者みんなで片付けをし、ピカピカな学校に。子どもたちのたくさんの笑顔で（大人の皆さんも！）、思わず天気の良いさを忘れてしまうような、大変素晴らしい地域交流の機会になりました。子どもたちにとって、記憶に残るような夏休みの大切なひとときになったのではないのでしょうか。



事例紹介

②



手稲西中学校地域連携協議会



放課後学習会「まなぼう」

学びのサポーター、学生ボランティア等を講師として、生徒の放課後の学習をサポート（年間20回実施）。自学自習を基本としつつ、子どもたちが分からないことがあれば、講師が傍に寄り添って丁寧に教えます。個別に教えてもらうことで、勉強の遅れを取り戻す子もいるようです。こうした取組を他の学校でも実践しているところが増えてきており、地域学校協働活動の定番のメニューとなりつつあります。

また、手稲西中学校では、この取組を通じて嬉しい出来事がありました。放課後学習会「まなぼう」に、普段学校に行くことができない生徒が参加してくれるようになりました。こうして学校に来て勉強ができるようになったのは大変嬉しい出来事です。地域の方とともに、頑張っている姿を見ると、地域学校協働活動の多様な可能性を感じます。

事例紹介

③



平岸小学校地域学校協働活動推進委員会



マーチングバンドを通じた体験活動、地域交流

平岸小学校は同校マーチングバンドを中心として地域学校協働活動に取組み、演奏を通じて様々な体験活動や地域交流が図られています。今年度は地域の夏祭りにおける演奏を一つの目標として活動しました。

今年度、はじめての活動は運動会の演奏でした。保護者や地域住民も観覧可能となった久しぶりの運動会。演奏を通じて、学校と地域の一体感が生まれました。このように運動会の運営の一部を担うことで、学校支援にも繋がる活動となりました。

また、定期的な活動として、マーチングバンドのスタッフを講師に、普段音楽に馴染みのない児童等を対象として、楽器の演奏体験や、楽譜の読み方の学習などが行われました。初めて触れる楽器で実際に演奏することは、子どもたちの感性を育む豊かな体験活動につながり、保護者も一緒になって参加したことで、親子皆で楽しむ機会となりました。活動に参加した児童は、マーチング部員と一緒に夏祭りの演奏に参加します。

本格的な演奏練習の日も設け、児童には、進行に必要なセリフも覚えてもらいました。いよいよ本番。今年度の夏祭りは学校が会場です。当日は校区の児童のほか、保護者に商店街、地域住民など多くの方が来場。参加した児童は、マーチングバンド部員のサポートも受けつつ、堂々と演奏していました。最初は緊張しながらも最後は達成感に満ちた笑顔を見せ、観客からは大きな声援が送られるなど、大盛況の様子でした。

一連の活動は、マーチングバンドのスタッフの方が、コーディネーターとなって企画しました。地域学校協働活動は、全てを新しく始める必要はありません。平岸小学校のように、地域の特性を生かした、既存の活動や地域人材を有効活用することで、子どもたちをはじめ、学校や地域に波及するような、豊かな体験活動につなげることができます。



次回予告

手稲中央小☆子ども未来応援団の事例を参考に、活動のスタートに役立つ情報を公開！「スタートちがくきょうどう！」さらには「地域×授業」をテーマに幌北小学校の活動を密着取材！